

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年5月2日 (2013.5.2)

【公開番号】特開2012-132014(P2012-132014A)

【公開日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2012-22967(P2012-22967)

【国際特許分類】

C 1 0 M 169/04 (2006.01)

C 1 0 M 131/10 (2006.01)

C 1 0 M 147/04 (2006.01)

C 1 0 M 105/06 (2006.01)

C 1 0 M 107/24 (2006.01)

C 1 0 M 107/34 (2006.01)

C 1 0 M 105/32 (2006.01)

C 1 0 M 105/38 (2006.01)

C 1 0 N 20/04 (2006.01)

C 1 0 N 30/00 (2006.01)

C 1 0 N 30/06 (2006.01)

C 1 0 N 40/30 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 M 169/04

C 1 0 M 131/10

C 1 0 M 147/04

C 1 0 M 105/06

C 1 0 M 107/24

C 1 0 M 107/34

C 1 0 M 105/32

C 1 0 M 105/38

C 1 0 N 20:04

C 1 0 N 30:00 A

C 1 0 N 30:00 Z

C 1 0 N 30:06

C 1 0 N 40:30

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月7日 (2013.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

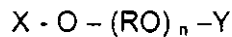
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 合成潤滑剤ベースオイル、及び、

b) 下記式

【化 1】



(該式中、 $-O-(RO)_n-$ はポリエーテル主鎖であり、

R は 1 ~ 10 個の炭素原子を有する部分的に又は完全にハロゲン化されたアルキル基であり、隣接している R 基は同一であっても又は異なってもよく、

n は 1 ~ 1000 であり、そして、

X 及び Y は末端基であり、該末端基 X 及び Y は、ヒドロキシル、エステル、エトキシ化ヒドロキシル、エトキシ化エステル、有機及び無機のアミン、シアノ、並びにアミドから成る群から選択される官能基である。) を有するポリエーテルを含む、気泡誘導剤、を含む潤滑剤組成物。

【請求項 2】

前記 R が、1 ~ 7 個の炭素原子を有する完全にハロゲン化されたアルキル基である、請求項 1 に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 3】

前記ハロゲンがフッ素である、請求項 1 又は 2 に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 4】

前記 n が 1 ~ 100 である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの官能化された基が、前記ポリエーテル主鎖から離れた末端基の端にある、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの官能化された基がハロアルキル基を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 7】

前記気泡誘導剤が潤滑剤組成物の重量の 0.0001 ~ 0.1 % の含有量で存在する、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 8】

前記合成潤滑剤ベースオイルが、アルキルベンゼン、ポリビニルエーテル、ポリアルキレングリコール及びエステルから選ばれる、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 9】

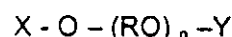
前記合成潤滑剤ベースオイルが、ポリオール誘導体であるエステルである、請求項 8に記載の潤滑剤組成物。

【請求項 10】

a) 合成潤滑剤ベースオイル、及び、

b) 下記式

【化 2】



(該式中、 $-O-(RO)_n-$ はポリエーテル主鎖であり、

R は 1 ~ 10 個の炭素原子を有する部分的に又は完全にハロゲン化されたアルキル基であり、隣接している R 基は同一であっても又は異なってもよく、

n は 1 ~ 1000 であり、そして、

X 及び Y は末端基であり、該末端基 X 及び Y は、ヒドロキシル、エステル、エトキシ化ヒドロキシル、エトキシ化エステル、有機及び無機のアミン、シアノ、並びにアミド

から成る群から選択される官能基である。）を有するポリエーテルを含む、気泡誘導剤、
を含む潤滑剤組成物の冷却装置における使用。